

定数や地域課題を聞く

新型コロナウイルス感染症などの影響により3年ぶりとなった「議会と語る会」は、10月11日から18日までのうち、4日間にわたり市内11地区で行いました。

今回のテーマは「令和3年度決算」と「議員定数、報酬と政務活動費の検討結果」の2点。議長、副議長を除く16議員が3班に分かれ、各地区のコミュニケーションセンターなどでコロナ対策を講じながら市民と懇談しました。

11地区全体での参加者は170人。議員定数に関することや市民生活での課題など、活発な意見や要望が寄せられ、78項目に及びました。会場では、議会側の班長があいさつ後、資料に基づいた説明を行いました。

初めに、9月議会で全会一致により認定した令和3年度一般会計決算についてグラフ化した資料を用いて説明しました。

議員定数削減案

議員定数の見直しについては、議長の諮問を受け、令和3年2月に諸課題検討委員会を設置し、これまでの本市議会の議員定数などの推移をはじめ、全国の人口が同規模の自治体の定数や報酬などの状況、今後の本市の人口動態を踏まえ、各会派の意見をとりまとめ調査、検討を重ねてき

ました。

その結果として、議員定数については「近隣の市議会および全国の類似団体の議員定数の状況や人口減少の状況等を考慮、比較して削減する必要があると考えられることから、2人減の16人とするところが妥当である」とし、報酬と政務活動費については「新型コロナウイルス感染症などの影響による地域経済を考慮すると、現時点では、『現行のとおり』が望ましい」としました。

しかし、「多様化する市政課題に対して、より責任ある活動が求められることや報酬額が25年以上にわたり改定されていないことなどから、増額すべきとの意見もあった」とする内容を説明しました。

議員定数などへの意見

・定数を減らすことに賛成。その分、報酬を上げて働いて



議会と語る会（高田地区）

欲しい。

・定数減によって人口の少ない地区は議員と話す機会が減ってしまう。減らすことに反対。

・定数16人はほぼ妥当。報酬の据え置きも妥当。
・コロナ禍で議員活動も大変だと思うが、定数を減らして大丈夫か。

・議員は量より質で、もっと勉強すべき。5年後の人口を考えれば、定数は14人でもいいのでは。

・定数削減は、もうこれ以上高田は大きくならないことを前提としている。人口増に向けた工夫をすべきで、人口が増えたら議員を増やしてもよい。

・議員が考え、市の現状を考えた上での定数であり妥当だと思う。削減は内部改革だと思ふ。

・人口が減ったから定数を減らすのではなく、もっと考えた方がいいのでは。
・定数は現状でもいいのでは。
・報酬の総額を今のままにして、定数を増やしたらどうか。
・定数を3人減らしてもいい。

・定数16人は妥当。14人のところもある。
・市民の代表である議員数を減らすと市民の意見が届きにくくなるのでは。定数を減らすと親戚や友人の多い人が当選する。
・今後も人口が減ったら定数を減らすのか。

会と語る会

各地区で議

・定数をもっと減らして報酬を上げてほしい。
・定数は他市町村と比べるという考え方でなくてもいいのでは。

各地区での意見

【生田地区】
・もつと林業にも目を向けてほしい

【矢作地区】
・肥料、資材等が高騰している中で米価は下落しているの

で対策を講じてほしい
・旧矢作小校舎の利活用の検討を

【下矢作地区】
・小中学校の通学路の適正な安全確保を

・ガソリンをはじめ燃料が内陸に比べて高額なため、同水準になるよう働きかけてほしい

【横田地区】
・若い方々の移住、定住への支援策を

・三陸花火大会は波及効果が大きいため、よりよいイベントにしてほしい

【竹駒地区】
・タクシー券をより利用しやすい制度に

【今泉地区】
・空き地の雑草除去などかさ上げ地や移転元地の適正な管理を

・避難指示等を発令する際には何に対する避難か分かるよ

う明確に伝えてほしい

・グリーンズスローモビリティの公営住宅以外の場所への追加走行も検討してほしい

【長部地区】

・震災後、市が買い上げた土地の利活用の状況はどうか
・気仙地域から内陸部までの道路の検討を

【高田地区】

・将来の漁業振興のためにも陸上養殖の取り入れ検討を
・人口減少が進む中、その維持、増進策を講じてほしい

【米崎地区】

・浜田川に架かる橋梁と道路が鋭角に交差しているため安全な通行確保対策を

【小友地区】

・氷上山の風力発電で市民の意見を聞いてほしい
・農業機械導入支援事業の助成金引き上げを

【広田地区】

・野外活動センターの活用とグラウンド等の整備を
(藤倉泰治広聴小委員長)

市民要望を市長に

福田利喜議長、大坂俊広聴広報特別委員会委員長、藤倉泰治広聴小委員会委員長の3人は12月13日、市長室を訪れ、戸羽市長に対し、「議会と語る会」で寄せられた市民からの要望や提言について申し入れました。

と考えるようにしたい。議会の皆さまにも引き続き市民の声を集めていただくようお願いしたい。」と話しました。

(担当・木村聡)

全11地区で開催した「議会と語る会」の内容をもとに、林業、燃料費、タクシー券、災害情報、風力発電など16項目を提出し、課題解決を求めました。

